

“東洋のスイス”長野県岡谷市の明かりブランド【AIKA -あいか-】

～「1/f ゆらぎ」で心地よいLED間接照明～



湖や山々に囲まれた景色、電気製品や精密機器メーカーが数多くあることから、「東洋のスイス」とも呼ばれる長野県諏訪エリア。この地で電子機器開発などを行う「エーピーエヌ株式会社」(本社:長野県岡谷市、代表取締役:小松英智)は、明かりの自社ブランド「AIKA-あいか-」を新たに立ち上げました。

ろうそくの揺らぎを再現する電子制御基盤を使った、自社オリジナルのLED間接照明シリーズを主力展開しています。地域産業の活性化を目指し、地元岡谷市の特産品であるシルクをランプシェードに使った温かみのある明かりを皮切りに、商品ラインアップの拡充を進めていきます。

<WEB>

- AIKA専用 <https://www.apn-jp.com/aika/>
- エーピーエヌ株式会社 <https://www.apn-jp.com>

<取扱商品例> ※6月1日より展示開始

- ・「AIKA」: LEDランプ単体 (画像:下段左) 3,850円(税込)
- ・「穂の華 -HONOKA-」: AIKA+シェードセット商品 (画像:下段中央) 6,985円(税込)
- ・「YUMEKA」: バッテリー式LED照明単体 (画像:下段右) 8,470円(税込)
- ・「YUMEKAと絹のぬくもり」: YUMEKA+シェードセット商品 (画像:上段) 16,500円(税込)

monova オリジナルブランド「Urie」販売開始

螺鈿を贅沢に使用したエレガントなポニーフック



日本のものづくりをご紹介するシェアショールーム「Japan creation space monova」(合同会社monova、代表:杉原広宣)は、「2021年度ものづくりフロンティア事業」(一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 主催)のプロジェクトの一環として、螺鈿ヘアアクセサリブランド「Urie」を立ち上げました。

「高岡漆器」を手掛ける富山県の株式会社柴田漆器店(代表取締役社長:柴田治之)とのコラボレーション。漆器の中でも、柴田漆器店が得意とする螺鈿の技を活かしています。

デザインコンセプトには、よりよい社会の実現のためにSDGsの理念を取り入れ、「地域振興・資源の有効活用」を掲げています。富山の美しい景色からインスピレーションを得たデザイン、福井県鯖江の廃棄予定レンズのアップサイクルが特徴です。環境への配慮、ヘアアクセサリに求められる「軽さ」「フィット感」などの品質の良さも兼ね備えています。

そして、「普段の暮らしのなかで、伝統工芸の美と技に触れる機会が増えるように…」との願いを込めて、「街の景色の中でアクセントになること」もテーマにしています。

デビューシリーズは、髪を束ねたゴムに挿すだけで簡単につけられるポニーフック。富山の美しい風景から名づけられた「kearashi」「harunoakari」「yugure」「shinkiro」「hisui」の5商品です。

【商品名】 Urie ポニーフック ¥9,680(税込)
「harunoakari」「kearashi」「yugure」「hisui」「shinkiro」
※「黒ベースの harunoakari」から時計回り

